

令和5年3月7日(火)に栃木県立県央産業技術 専門校の生徒を対象に「分水作業実技講習会」を 実施しました。

令和5年3月7日(火)に栃木県立県央産業技術専門校建築設備科の生徒に「サドル付分水栓の構造と取付けの講義とその実技指導」を実施しました。

人材不足が顕在化し、担い手の確保・育成が喫緊の課題となっている管工事業界にとって、業界のイメージアップ、若手技能者の就業対策にも寄与するものとの考えから実現したもので、昨年に引き続き2回目の実施となりました。

当日は、青年部会を指導者として迎え、建築設備科1年生12名が「水道の大切さや分水栓の仕組み」を受講し、その後、組合の敷地内に組み立てられた口径100ミリの練習用配管で生徒全員が分水栓の取付け、穿孔、通水などの分水作業を体験しました。



開会の辞を述べる青年部会 西浦副部長



挨拶をする中村理事長



挨拶をする黒川教育技術委員長



講義を行う青年部会 星野 祥史 氏



講義を受ける生徒たち



実技講習の講師を務める青年部会員



実技講習を行う生徒①



実技講習を行う生徒②



実技講習を行う生徒③



実技講習を行う生徒④



古沢教授による「講評」



閉会の挨拶をする青年部会 福富部会長



参加者による記念写真